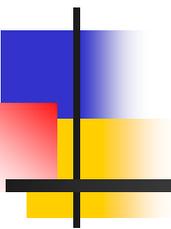


18災第201号 国道493号道路災害復旧工事



ワンデイ・レスポンス・プロジェクト
CCPM

体験発表

現場の位置



主な工事内容

1.仮設工

モルタル吹付+鉄筋挿入工

2.大型ブロック据付

クラックが入った路側練ブロック積擁壁を大型ブロック積擁壁で復旧

工事のポイント

掘削

◎**施工中に年末年始を迎える**

掘削開始から鉄筋挿入の完成まで
最も危険な期間にあたる

工事のポイント

◎3月1日にアメゴ漁が解禁する

河川内の作業が完了している必要あり

ワンデイ CCPMへの取組

興味をひかれたこと

人間の行動特性

仕事が遅れる管理

日数の管理をする=完成度

工程は多数で決める
会社全体のものとする

CCPM (1171011 - 42 - 703170 - 2735170)
1/2 リーディング・レスポンス・70%以外 (One Day Response)

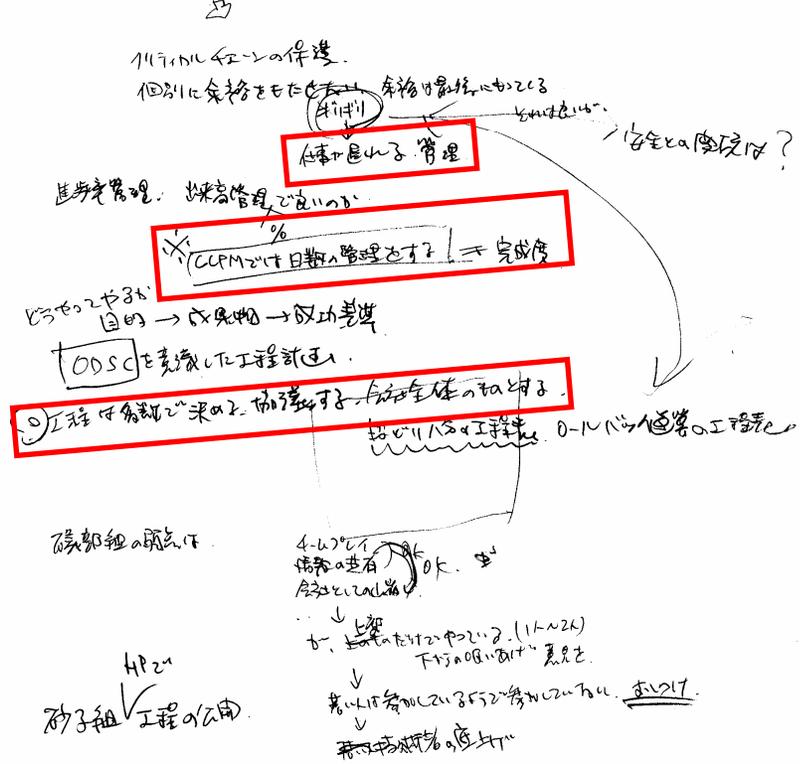
- ・ 講師 倉友 宮崎
- ・ 社内 総務主任 他
- ・ 人数 10名、4名

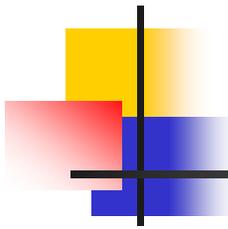
H.10.9 国巻 建設現場に於ける発注者責任に依る遅延の防止
「原則1日で返答する」→基本

人間の行動特性

- ・ 工程計画の余裕(パuffer)
- ・ 学生定員制 → 2人1組
- ・ パフォーマンスの差別
- ・ 早物完成の未報告
- ・ 214タスク (47名)

評価:
平均値に及ばないものは
卒業と見做す。遅延は
遅延と同時に進行して、個々のタスクが完了する
遅延は長くなる。





ワンデイ CCPMへの取組

■ ODSCの設定

目的： 早期完了させ良いものを造る
新しく取り組む二次製品の技術習得

成果物： 構造物
完成書類

成功基準： 評価点80点
2月末現場（河川内）作業完了
規格値50%以内

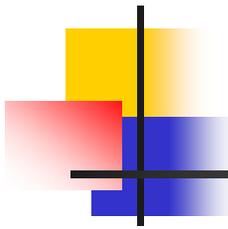
成功基準に対する結果

成功基準：評価点80点

- 2月末現場（河川内）作業完了
- 規格値50%以内



すべてクリアー



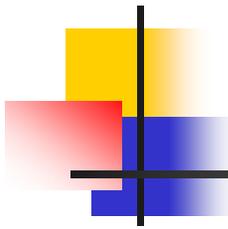
プロジェクトが終わって

発注者とのコミュニケーション

一つのプロジェクトを一緒に進める意識

リアルタイムに情報を共有

問題の早期発見とロスの低減



プロジェクトが終わって

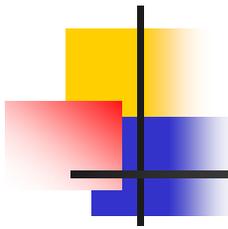
やればできそうで工事を進める。現場にサバを読ませない。

1つの作業に集中する。

**つねに先をみた段取りをする。あと何日かかるかで先手を打つ。
作業の早期終了を見逃さない。**

タイミングをみて施工を進める。

管理すべき作業と任せてよい作業の注意の配分が必要。



プロジェクトが終わって

キーワードは

地域貢献

原点回帰

誇りをもって仕事をする